

# 地域資源を活かした景観・まちづくりに関する研究

教員名：大平 和弘

連絡先メールアドレス： ohira[atmark]hitohaku.jp

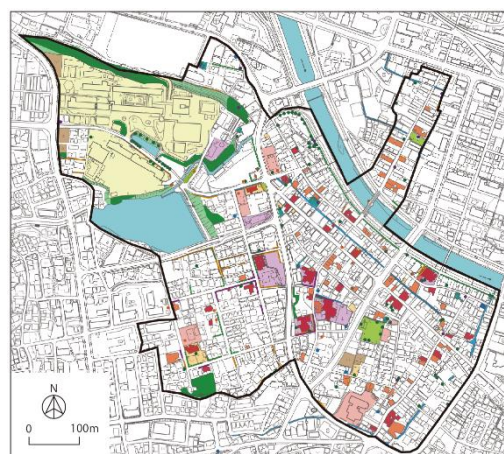
## ◎ どのような研究をしていて、どんなことに役立つのか？

“人と自然がうまく調和した地域固有の風景”を保全・創成するための、景観やまちづくりの計画やマネジメントに関する実践的研究に取り組んでいます。

現在、人口減少や地域の衰退、生活スタイルの変化などによって、長い年月をかけて継承されてきた地域固有の風景が、急速に失われつつあります。地域の風景を特徴づける自然や歴史、生活文化などの“地域資源”を発掘し、その価値を読み解き、それらを持続可能な形で活かすための住まい方や仕組みづくりが求められています。



地域固有の伝統的風景の例（赤穂市）



地域の景観資源の抽出例（三田市）

## ◎ 主な研究業績

- 1) 《風景の価値証明に関する研究》大平和弘・藤本真里・福本優・赤澤宏樹（2019）絵画にみる鳴門海峡の風景認識の変遷に関する研究，ランドスケープ研究 82(5)，457-462.
- 2) 《文化的景観の保全に関する研究》大平和弘・上田萌子・福本優・藤本真里・赤澤宏樹（2018）旧鉱山まちの小規模集落明延における景観の継承課題に関する研究，環境情報科学論文集 32，49-54.
- 3) 《景観資源に関する研究》大平和弘・上田萌子・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹（2016）兵庫県三田市旧城下町の景観形成に向けた景観資源の分布と居住者の認識との関係，ランドスケープ研究 79(5)，671-676.

## ◎ 学生に向けて一言

〇〇遺産認定など、地域資源を見直し、地域再生につなげる動きが各地で起こっています。それらに最前線に取り組む行政や地域住民とともに実践的に取り組む調査や研究に興味のある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。